

令和4年度の自己評価結果公表シート

1 園の教育目標

- ① 心身ともに健康でたくましい子ども
- ② 全てのものを慈しみ思いやれる子ども
- ③ 自分の思いや感じたことを素直に表現できる子ども
- ④ 自分の考えたことを行動に移し最後までやり遂げる子ども
- ⑤ 人とのかかわりの楽しさがわかり大切にできる子ども

2 令和4年度の学校評価の目標や計画

- ① 感染症対策をしての生活が長くなり、この園生活しか知らない子どもたちになっているので、保育計画において外あそびや友だちと関わるあそびを多く取り入れていけるように工夫する
- ② 園生活をみんなでするにはルールがあることを知り、1人ひとりが守ろうとしてみんなで楽しくあそぶことが大切であることを知らせていく
- ③ 一人ひとりの成長をしっかり観て、集団の中で育っていく姿を次の学年に引き継いでいけるよう指導していく

3 評価項目の取り組み状況と達成度評価

160/250 人中(中間アンケート)

176/260 人中(年度末アンケート)

	評価項目	取り組み状況	保護者による達成度評価(%)		教職員による達成度評価(%)
			(中間)	(年度末)	(年度末)
保護者・教職員	園の教育目標の達成を確認しながら子どもたちの成長ぶりを評価した。	教育目標が達成するよう教育課程を基に保育を進め、子どもを一人ひとり見つけ関わっている。	98.3	98.9	91.3
	子ども一人ひとりに生活習慣が身につく、友だちとのよい関係が築けているか子ども一人ひとりが自分の力を十分発揮できているか。	生活習慣を身につけさせる 子どもの思いをじっくりと聞き、子ども同士のかかわりが十分持てるように配慮、援助している。いろいろなことを体験できるようにしている。	96	97.9	95.3
	健康についての配慮を色々しているが、健康管理に役立っているか。(おたより、けが、病気への対応、食育の指導など)	ほけんだよりでお知らせをしたり、健康管理について子どもたちの意識も高めている。またけがや急な体調不良の時保護者にしっかり状況を伝えるようにしている。 感染症の情報提供も行った。	98.7	96.8	93.7
	避難訓練や、防犯、交通安全教室などを行っているが、その取り組みの成果はどうか。危険な遊びをしていないか。	警察や消防署と連携して園内で指導をしていただく機会を作ったり、長期休暇前に子どもたちに交通ルールや防犯に関する話をしている。また外あそびや自由あそびには看護する教師がいるようにしている。	93.7	93.5	94
	いろいろな情報はお手紙などで周知できるようにしているが分かりやすく伝わっているか。	お手紙は、保護者にわかりやすいよう詳しく記するようにしている。また急なお知らせはアプリを利用して迅速に知らせるようにしている。	93.7	97	100
	子育て支援、預かり保育は保護者の求めているものになっているか。	11時間開園における預かり保育をしている。またカウンセリングも、臨床心理士の先生に來園していただいている。(月2回) 未就園児への園庭開放を行っている(月1回) 未就園児の親のおしゃべり会を行っている。(週1回)	92.5	89	95.5
	施設整備の充実と維持管理をして子どもが楽しくすごせるように配慮できているか。	室内、室外ともに子どもたちが楽しくすごせるように遊具などを整備している。子どもたちにあそびが深まり広まるような声かけをしている。	93.8	96	79

※ (A) 100%~80% (B) 79%~60% (C) 59%以下 と評価する

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	令和4年度は感染症対策をしながらも、活動の内容を精査し工夫することでたくさんの活動に取り組むことができた。 人との距離をとることを求めることが多かったため、友だちとのかかわりを多く持ったり、たくさんの友だちと遊具を共に使ったり、話し合っあそびを広げたりすることが難しかった。教職員からすると子どもたちののびのびと思う存分あそばせてあげたと思えなかったことが、この結果にも現れていると思われる。

5 今後取り組むべき課題

- ① 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことでいろいろな制限は軽減されたが、子どもの健康観察は充分行い、手洗いをしっかりとすることや換気にも注意をして保育をすすめる。
- ② 制限していた人のかかわりや歌・会話の声の大きさなどに制限なく取り組むことができるようになったことで、子どもたちが自分のあそびを見つけたり、自分の思いを相手にしっかりと伝えることができ、相手の気持ちもわかろうとするように助言、配慮をしていく。
- ③ 一人ひとりがいろいろな活動や行事を通して成長していけるように見守り、必要な援助をする。

6 その他のご意見について

アンケートに書いていただいたご意見については教職員で確認し、今後の改善に役立てていけるようにする。教職員の反省や気づきになったり、はげみとなるご意見などもたくさんいただき、ありがたく思った。



子どもたちの活動を見学した際、子どもたちと一緒に先生方も楽しそうにすごしている姿が印象深かった。

家庭では経験できないあそび(水あそびなど)を子どもたち自身が考えて工夫しながら友だちと一緒に楽しめていた。あそびを進める中で、達成感・満足感・責任感などのいろいろなことが経験できていると思った。集中して遊ぶことは大切な事で、そこに先生の言葉がけや援助によって子どもたちの動きが変わっていたので先生方の働きかけの大切さを感じた。

昨今、言葉の重要性を感じているので保育の中で絵本の読み聞かせや言葉あそびなどにより表現することの楽しさをたくさん経験してほしい。